



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場会社名 石油資源開発株式会社
コード番号 1662 URL <http://www.iapex.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 修

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長

(氏名) 三原 章司

TEL 03-6268-7110

四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日

配当支払開始予定日

平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	105,958	1.3	1,778	△71.4	3,062	△61.2	△24,433	—
24年3月期第2四半期	104,596	13.2	6,219	61.7	7,887	60.0	6,333	234.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △40,803百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △19,152百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△427.51	—
24年3月期第2四半期	110.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	480,129	72.9	367,298	72.9		
24年3月期	532,890	73.7	406,773	73.7		

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 350,052百万円 24年3月期 392,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
25年3月期	—	20.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	222,228	△3.6	10,304	△31.5	18,855	△14.9	△11,630	—	△203.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)有形固定資産の減価償却方法の変更に関するものではありません。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	57,154,776 株	24年3月期	57,154,776 株
25年3月期2Q	2,139 株	24年3月期	2,139 株
25年3月期2Q	57,152,637 株	24年3月期2Q	57,152,671 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法)

平成24年11月2日に機関投資家・証券アナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定ですが、同説明会で配布する資料についても、説明会開催後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(固定資産に係る重要な減損損失)

北海道苫小牧市の勇払油ガス田の生産能力が低下したことにより、同油ガス田の生産操業に係る事業用資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。当第2四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は37,031百万円であります。なお、減損損失発生の経緯及びこれに伴う業績予想の修正につきましては、平成24年10月26日公表の「事業用資産の減損損失の計上、業績予想の修正および個別業績予想と前期実績との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書 第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) その他の注記事項	8
4. 補足情報	9
生産・販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における売上高は、天然ガスの販売数量の減少などの減収要因はあるものの、天然ガスの受託輸送収入の増加などにより、105,958百万円と前年同期に比べ1,362百万円の増収（+1.3%）となりました。売上総利益は、前述の天然ガスの受託輸送収入の増加などの増益要因はあるものの、天然ガスの販売数量の減少及び北海道における冬季天然ガス安定供給対策費用の増加などによる売上原価の増加などにより、23,638百万円と前年同期に比べ1,700百万円の減益（△6.7%）となりました。

探鉱費は、国内及び海外での支出が大きく増加したことにより、前年同期に比べ3,272百万円増加（+80.9%）の7,316百万円となり、販売費及び一般管理費は前年同期に比べ532百万円減少（△3.5%）の14,542百万円となりました。この結果、営業利益は、売上総利益の減少及び探鉱費の増加を受けて、前年同期に比べ4,441百万円減益（△71.4%）の1,778百万円となりました。

経常利益は、受取配当金の増加や為替差損の減少などの増益要因はあるものの、営業利益の減少及び持分法による投資損失の増加などを受けて、前年同期に比べ4,825百万円減益（△61.2%）の3,062百万円となりました。

税金等調整前四半期純損失は、特別利益にJapan Canada Oil Sands Limited (JACOS) におけるピチューメン権益の譲渡による権益譲渡益を2,495百万円計上したものの、特別損失に北海道における勇払油ガス田の生産能力の低下を受けて、同油ガス田の生産操業に係る事業用資産の減損損失を37,031百万円計上したことなどにより、前年同期に比べ39,556百万円減益の31,710百万円となり、四半期純損失は、前述の減損損失の計上に伴う繰延税金資産の計上などにより法人税等が減少した結果、前年同期に比べ30,766百万円減益の24,433百万円となりました。

なお、売上高の内訳は次のとおりであります。

(イ) 原油・天然ガス

原油・天然ガス（液化天然ガス（LNG）及びピチューメンを含む）の売上高は、ピチューメンの販売数量の増加及び販売価格の上昇、並びに LNG の販売価格の上昇などによる増収要因があるものの、天然ガスの販売数量の減少及び原油価格の下落に伴う買入商品原油の販売価格の下落などにより、83,810百万円と前年同期に比べ303百万円の減収（△0.4%）となりました。

(ロ) 請負事業

請負事業（掘さく工事及び地質調査の受注等）の売上高は、2,447百万円と前年同期に比べ189百万円の増収（+8.4%）となりました。

(ハ) その他

液化石油ガス（LPG）・重油等の石油製品等の販売、天然ガス・石油製品の受託輸送及びその他業務受託等の売上高は、主に天然ガスの受託輸送収入の増加などにより、19,700百万円と前年同期に比べ1,475百万円の増収（+8.1%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、流動資産が増加したものの、固定資産が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ52,761百万円減少し、480,129百万円となりました。流動資産の主な変動は、現金及び預金の増加、短期間の資金運用を目的とした国庫短期証券等の購入による有価証券の増加、LNGの仕入による原材料の増加、及び流動資産のその他に含まれる現先取引による短期貸付金の減少などによるものであり、固定資産の減少要因は、主に前述の北海道における勇払油ガス田に係る事業用資産の減損損失の計上による有形固定資産の減少、及び国際石油開発帝石株等の株価下落による投資有価証券の減少などによるものであります。

また、負債の部及び純資産の部につきましては、支払手形及び買掛金の増加などを、前述の投資有価証

券の減少による繰延税金負債の減少や長期借入金の減少などが上回ったことにより、負債合計は13,286百万円減少の112,831百万円となり、純資産合計は、連結子会社である(株)ジャペックスグラフの第三者割当増資による少数株主持分の増加などを、前述の四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少及びその他有価証券評価差額金の減少が上回った結果、39,475百万円減少の367,298百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年10月26日に公表しました連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

操業度の時期的な変動により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債（その他）として繰り延べております。

②税金費用の計算

税金費用については、当社及び一部の連結子会社は当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,805	34,722
受取手形及び売掛金	27,392	25,765
有価証券	51,870	65,599
商品及び製品	4,407	4,891
仕掛品	99	274
原材料及び貯蔵品	4,952	8,280
その他	46,527	39,323
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	165,054	178,854
固定資産		
有形固定資産	132,859	89,808
無形固定資産		
その他	7,156	7,001
無形固定資産合計	7,156	7,001
投資その他の資産		
投資有価証券	192,726	163,488
その他	39,725	45,603
貸倒引当金	△38	△32
海外投資等損失引当金	△4,593	△4,595
投資その他の資産合計	227,820	204,464
固定資産合計	367,836	301,274
資産合計	532,890	480,129

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,251	19,145
引当金	216	129
その他	25,509	20,877
流動負債合計	32,977	40,153
固定負債		
長期借入金	26,198	22,432
繰延税金負債	42,601	26,838
退職給付引当金	7,129	6,968
その他の引当金	845	830
資産除去債務	9,670	9,296
その他	6,695	6,310
固定負債合計	93,140	72,677
負債合計	126,117	112,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,288	14,288
利益剰余金	294,323	268,747
自己株式	△10	△10
株主資本合計	308,601	283,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,366	71,599
繰延ヘッジ損益	20	662
為替換算調整勘定	△5,391	△5,234
その他の包括利益累計額合計	83,995	67,027
少数株主持分	14,176	17,245
純資産合計	406,773	367,298
負債純資産合計	532,890	480,129

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	104,596	105,958
売上原価	79,257	82,320
売上総利益	25,338	23,638
探鉱費		
探鉱費	4,043	7,316
探鉱費合計	4,043	7,316
販売費及び一般管理費	15,075	14,542
営業利益	6,219	1,778
営業外収益		
受取利息	864	805
受取配当金	1,337	1,442
その他	992	706
営業外収益合計	3,194	2,953
営業外費用		
持分法による投資損失	213	744
為替差損	440	357
その他	873	568
営業外費用合計	1,526	1,669
経常利益	7,887	3,062
特別利益		
権益譲渡益	—	2,495
その他	138	301
特別利益合計	138	2,796
特別損失		
減損損失	—	37,031
その他	181	538
特別損失合計	181	37,570
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	7,845	△31,710
法人税等	1,277	△7,772
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	6,568	△23,938
少数株主利益	235	495
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,333	△24,433

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	6,568	△23,938
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,023	△17,777
繰延ヘッジ損益	△20	749
為替換算調整勘定	424	197
持分法適用会社に対する持分相当額	△100	△34
その他の包括利益合計	△25,720	△16,865
四半期包括利益	△19,152	△40,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,370	△41,401
少数株主に係る四半期包括利益	218	598

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) その他の注記事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

北海道苫小牧市の勇払油ガス田の生産能力が低下したことにより、同油ガス田の生産操業に係る事業用資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。当第2四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は37,031百万円であります。

4. 補足情報

生産・販売の状況

① 生産実績

		前第2四半期 連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	(参考) 前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
原油・天然 ガス	原油 (kl)	253,572 (1,624)	239,751 (1,134)	547,777 (2,527)
	天然ガス (千m ³)	597,324 (3,721)	534,262 (555)	1,288,978 (4,435)
	液化天然ガス (t)	19,950	226	22,943
	ビチューメン (kl)	176,443 (176,443)	188,486 (188,486)	382,394 (382,394)

- (注) 1. 原油、天然ガス及びビチューメンの () は海外での生産であり、内数です。
2. 天然ガスの生産量の一部は、液化天然ガスの原料として使用しております。
3. ビチューメンとはオイルサンド層から採取される超重質油です。

② 販売実績

		前第2四半期 連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		(参考) 前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	
		数量	金額 (百万円)	数量	金額 (百万円)	数量	金額 (百万円)
原油・天然 ガス	原油 (kl)	720,627	42,441	732,685	41,754	1,395,833	80,754
	天然ガス (千m ³)	742,266	31,170	685,316	30,054	1,730,381	74,957
	液化天然ガス (t)	90,982	6,293	89,062	7,292	216,211	15,930
	ビチューメン (kl)	175,429	4,207	187,429	4,708	382,378	9,137
小計			84,113		83,810		180,779
請負			2,258		2,447		8,360
その他	石油製品・商品		16,610		15,824		36,585
	その他		1,614		3,876		4,912
小計			18,224		19,700		41,497
合計			104,596		105,958		230,638

- (注) 1. 「石油製品・商品」には、液化石油ガス (LPG)、重油、軽油、灯油等が、「その他」には天然ガス・石油製品の受託輸送及びその他業務受託等が含まれております。
2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。